

# 感染症流行予測調査（日本脳炎感染源調査）

【保健衛生室】

竹内功二

## 1 はじめに

感染症流行予測調査事業は、厚生労働省の委託による事業で、集団免疫の現状把握及び病原体の検索等の調査を行い、各種疫学資料と併せて長期的視野に立ち、総合的に疾病の流行を予測する事を目的としている。平成26年度、国立感染症研究所との連携のもと、感染源調査として、日本脳炎ウイルスの増幅動物である豚の血清中日本脳炎ウイルス抗体価を赤血球凝集抑制抗体（HI抗体）法により測定し、間接的に日本脳炎ウイルスの流行状況を調査したので報告する。

## 2 調査方法

1) 調査期間 平成26年7月から9月中旬

2) 材料

県内のと畜場に出荷された肥育豚（生後約6ヶ月）を対象とし、1回10頭、合計8回80頭の採血を行った。

3) 方法

常法に基づき、HI法を用いた豚血清中の抗体

価測定を行い、判定が1:10以上を陽性とした。

さらに、1:40以上の場合には、2ME感受性試験を行いIgM抗体価の確認を行った。

## 3 結果及び考察

表に示すように、総数で、豚血清中のHI抗体価陽性率が92.5%と高率であった。7月2日に採血した血清では、HI抗体価陽性10頭がHI抗体価1:320以上の高い値を示し、すべて2ME感受性抗体陽性で、ウイルスの新鮮感染を確認した。他の採取日で2ME感受性を実施した検体でも多くが抗体陽性であり、同様の傾向とみられた。

## 4 まとめ

7月から9月にかけて日本脳炎ウイルスに感染している豚が存在したことから、感染蚊による活動があったことが推測された。日本脳炎ワクチンを接種されていない方や乳幼児は蚊に刺されないよう注意が必要である。

平成26年度日本脳炎感染源調査結果

採血日			検査頭数	HI抗体価							HI抗体保有率 (%)		2ME感受性試験		
年	月	日		<10	10	20	40	80	160	320	≥640	HI陽性	2ME陽性		
2014	7	2	10						3	7	100	%	10	10	
	7	16	10	3	7						70	%	0		
	7	23	10	3	6	1					70	%	0		
	8	6	10		9	1					100	%	0		
	8	12	10			8	1		1		100	%	2	2	
	8	20	10			10					100	%	0		
	9	3	10		2		3	5			100	%	8	5	
	9	17	10		6	3	1			2	100	%	1	0	
	合計		80	6	30	23	5	5	1	3	9	92.5	%	19	15